



側溝・河川・池等の  
油回収処理に!

## SNOM スノムゲル化材 (SW)

(ゲル化タイプ)

油だけを迅速にゲル化、揮発を抑制して、発火等の危険を防止します。

鉱物油・動植物油・非極性溶剤等の全ての油類に対応できます。



比重0.25(10kg:40L)  
油吸着材スノム  
走査電子顕微鏡写真  
山口産業技術センターにて撮影  
装置:JSM-5600  
加圧電圧(kv):15  
倍率×1,100

### 商品特徴

- 油・溶剤を速やかに吸着、ゲル化し処理を容易にします。  
(水を吸着せずに油のみを引き付け吸着します)
- 攪拌せずに、すぐゲル化します。
- 油・溶剤を吸着・ゲル化して、水に沈みません。(膜状に固まり、24時間以上は浮いています)
- 有害物質を含まず、生態系に悪影響を与えません。
- 粉末タイプであらゆる状態の油に対して、手軽に対応できます。  
(粉状の為、少量で広範囲に散布できます)
- 油を吸着すると「SNOM / スノムゲル化材(SW)」の色が、黄色から茶色に変わります。
- 揮発性油、溶剤の揮発を抑制する効果があります。



### 処理できる液体

- 鉱物油:原油・ガソリン・灯油・軽油・重油・潤滑油・有機溶剤(アセトン・ベンゼン・トルエン・キシレン・フェノール・アルコール等)
- 極性溶剤(エーテル・ケトン・アルコール等)100%はゲル化しません。
- 動植物油・コンプレッサーオイル・流動パラフィン等の特殊な産業油

### 使用方法

- 油100ccに対して「SNOM / スノムゲル化材(SW)」40gを目安に散布して下さい。(水面の場合)
- 油表面にできるだけ均等に本材を散布することで、十分な効果を得ることができます。
- 油層が厚い場合は、攪拌して下さい。
- (ゲル化に要する時間は対象油の粘度が大きく影響します。)

### 処理方法

- ゲル化された油は、特定の焼却炉で処理できますが、対象の油・溶剤の組成により有毒ガスが発生することがあります。  
(本剤からは有毒ガスの発生は有りません。)
- トリクロロメタン・クロロホルム・四塩化炭素などハロゲン化炭化水素類に使用した後、産業廃棄物として廃棄する場合は、御注意下さい。

### 安全性

大気汚染防止法、水質汚濁防止法で規定される鉛、ヒ素、クロム、カドミウム、水銀等は使用しておりません。

### 保管上の注意

変質等の防止の為、直射日光、水漏れ、高温多湿、野外保管を避け、屋内の冷暗所に保管して下さい。

### 荷姿

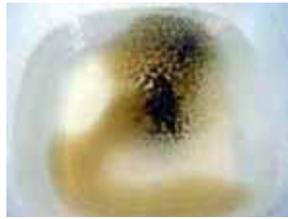
油吸着材 SNOM / スノムゲル化材 (SW10) 10kg入り / 段ボール箱入り (油ゲル化タイプ)

油吸着材 SNOM / スノムゲル化材 (SW5) 5kg入り / 段ボール箱入り (油ゲル化タイプ)

**使用例 水面の油処理**



水面に油がこぼれた状態



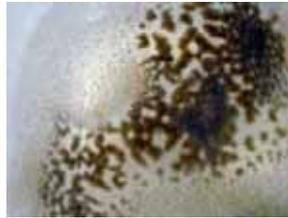
SNOMを撒きだす



油を引き寄せ



SNOMが油を吸着する



水面はSNOMが浮いている



油が固まる

**使用例 油水分離槽での油回収**



分離槽用SNOMの使用例



SNOMを分離槽上へ散布



粉末状である為少量で広範囲に散布でき



散布後は網等で油だけを容易に回収できます



SNOM散布後の油はゲル化します



SW型は分離槽・オイルフェンスに特に効果的です

**スノムゲル化材(SW)使用参考例 (床面・容器・タンク内等の処理)**

油種	油に対する重量比の必要量
燃料油	55%前後
粘度の高い鉱物油系の機械油	50%前後
動植物油	50%前後
コンプレッサーオイル 流動パラフィン等の特殊な産業油	60%前後

水面の浮油の場合、上記必要量より10%~20%少量で可能です。  
 必要量は温度、水分、汚れ等の不純物、添加物等により多少異なります。  
 鉱物油・動植物油を含む全ての油類に対応できます。  
 広い水面以外は、投入後すぐ攪拌せず「スノムゲル化材(SW)」に油を染みこませて下さい。吸収した後にゲル化しますので、直ぐに攪拌するとダマになり油を吸収しにくくなります。  
 その後攪拌が必要な場合は、軽く攪拌して下さい。(ゲル化には、投入量が適量であれば基本的に攪拌は、不要です。)  
 広い水面以外は、油のにじみ出しが無くなるまで散布して下さい。広い水面は、「スノムゲル化材(SW)」が濃い色に変色する位まで散布して下さい。  
 動植物油は水面の場合、ゲル化した後沈下します。また、特殊な添加物が入っている時は、柔らかくなる場合がまれに有りますので、ゲル化した物は、出来るだけ早く処理して下さい。  
 ゲル化したものを放置した場合、高温によって溶けたり又、直火を掛けない限り着火しません。  
 非極性溶剤(ベンゼン・ヘキサン・トルエン・シンナー等)はゲル化できますが、極性溶剤(エーテル・ケトン・アルコール等)はゲル化できません。但し、少量混ざっている場合(ブレーキオイル・コンプレッサオイル等)は可能です。  
 水とエマルジョン状態の場合は、硫酸アルミニウムを添加し分離後は、ゲル化できます。  
 有毒物質は含まれていませんが、安全に不安を感じられる場合は、安全データシートを参照下さい。

**Filton** <http://www.osumi.or.jp/filton/> 2007.01

取扱店

製造元 **有限会社 アセンチ**

〒747-0825 山口県防府市新田2-4-6番地(山口オフィス)

販売元 **南九州フィルトン販売**

〒893-0057 鹿児島県鹿屋市今坂町9-9-0-3

村田木材株式会社

TEL 0994-42-4351

FAX 0994-43-3636